

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |           |    |            |
|----------------|-----------|----|------------|
| ○事業所名          | しんがくどう福岡東 |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | R8年2月15日  |    | ～ R8年3月15日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)    | 37 | (回答者数) 20  |
| ○従業者評価実施期間     | R8年3月1日   |    | ～ R8年3月15日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)    | 2  | (回答者数) 2   |
| ○訪問先施設評価実施期間   | R8年2月15日  |    | ～ R8年3月15日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)    | 16 | (回答者数) 10  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年3月23日  |    |            |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 子ども一人ひとりの特性に合わせた支援や、保護者・学校との連携については高く評価されています。今後は、その支援のねらいや変化をより分かりやすく伝えていくことで、さらに安心していただける体制づくりが期待されます。また、関係機関との連携をより深めることで、継続的で一貫した支援につなげていきたいと考えています。 | 子どもの様子を丁寧に把握し、その子に合った支援を行うことを大切にしています。また、保護者や訪問先に対しては、できるだけ具体的に分かりやすい説明を心がけています。訪問後の振り返りや助言、学校や担任の先生への配慮を含めた関わりを通して、関係者と一緒に子どもを支える体制づくりを意識して取り組んでいます。 | 現在の取組を大切にしながら、支援の内容や変化がより伝わるよう工夫していきます。例えば、支援の経過や子どもの変化を分かりやすく整理して共有することや、情報発信の充実を進めていきます。また、保護者の方にも参加いただけるような支援の機会づくりや、職員間での支援の共有をさらに進め、安定した支援につなげていきます。 |
| 2 | 子どもの変化を丁寧に捉えながら、長期的な視点で支援を継続している点も本事業所の強みです。今後は、その積み重ねをより分かりやすく共有することで、支援の価値をさらに高めていきたいと考えています。  | 保護者や訪問先の意見を柔軟に取り入れながら支援内容を調整している点も特徴です。一方的な支援にならないよう、対話を大切にしながら進めていることが信頼関係の構築につながっています。  | 職員同士での情報共有や振り返りを大切に、支援の質を維持・向上させる取組を進めています。今後もチームとしての連携を強化し、誰が関わっても安定した支援が提供できる体制づくりを進めていきます。   |
| 3 |  |   |   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること  | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|---|--|
| 1 | 全体として高い評価をいただいている一方で、「どのような支援を行っているのか分かりにくい」と感じられる場面や、情報発信の不足が見られました。また、家族への支援や緊急時の対応についても、十分に伝わりきっていない部分があることが課題として挙げられます。 | 支援自体は実施できているものの、その内容や意図を分かりやすく伝えることや、継続的に発信する仕組みが十分でないことが要因と考えています。 | 今後は、支援内容や事業所の役割を分かりやすく伝える工夫を進めていきます。具体的には、通信やSNSなどを活用した情報発信の充実や、支援の内容・変化を整理してお伝えする取組を強化していきます。 |
| 2 |   |   |  |
| 3 |   |   |  |